

歩き出しませんか。
もっと前へ

こんにちは。
原しゅんじです。

コロナ下だけど、
安心としあわせを実感できる
まつやまを目指して
「みんなで創るみんなの理想の街」へ
そして、
読んでくださったみなさん！
声をもっと聞かせてください。
市議会が一番身近にある政治です。
わたしは、
みなさんと政治のことを一緒に考える。
そうあって欲しいなと思います。



市政報告・討議資料

平素から松山市政に対しましてご支援ご協力頂きましてありがとうございます。
特に、国そして県・松山市では一昨年から未曾有の経験がない中で、市民の皆さんには、多大なご不安な日々を過ごされております。そんな中で、感染者への治療にあたる医療関係の方々には、日々献身的に従事頂いておりますと共に、コロナから命を守るために感染予防にご協力を頂いている方々に心から感謝申し上げます。
コロナ下では、自粛をお願いしお仕事の制限があり、経済的にも大きな影響が続いています。可能な限り感染対策や経済支援を講じる中で、今後も責任与党である自民党議員として、地元の声が政策に反映できますように、国にしっかりと声を届け、現場対応をする本市での対応をしっかり推進していく所存です。
一日でも早く、健康で今までの様に大事な方と自由にふれあえる日々が訪れ、仕事も趣味も自由に活動できますよう、祈念しております。
そのために、政治そして市政に対し責任をもって提言し活動していく所存ですので、引き続きご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

原しゅんじプロフィール

生年月日

昭和39年5月22日生まれ(辰年)

家族

妻(看護師)、子供男子3人は独立

学歴・職歴

昭和55年 松山市立 雄新中学校 卒業
昭和60年 国立 新居浜工業高等専門学校 電気工学科 卒業
昭和60年 四国通信建設(株) 入社
平成5年 衆議院議員 塩崎恭久 秘書
平成9年~ ㈱根津設計 入社
平成18年 松山市議会議員 初当選
平成28年 松山市議会副議長
平成30年 自民党松山支部連合会 会長

現職・その他活動

㈱根津設計 取締役会長
平成28年度 松山青年会議所シニアクラブ 会長
愛媛県青少年育成リーダー協議会 会長
松山市青少年育成支援委員協議会 理事
愛媛県更生保護会 理事
モラロジー道徳教育財団 維持員
愛媛県建築士事務所協会 会員
愛媛県建設労働組合松山支部 相談役
松山法人会 所属
中小企業家同友会 所属
茶道裏千家淡交会松山支部 所属
新居浜高専同窓会 理事
愛媛県ボウリング連盟 副会長
俳句甲子園実行委員会 所属
まつやま俳句でまちづくりの会 所属

連絡先

原しゅんじ事務所

☎089-974-8812

お気軽にお電話ください。

FAX 089-974-8813

〒790-0056 松山市土居町 229 番地 4

E-mail harasyun@gmail.com



友だち登録
お願いします！

LINE 公式アカウント



政策の柱・その1 健康・福祉の充実

1. とにかくコロナ感染予防とワクチン接種を積極的に！

ワクチン接種が順次始まります。医療従事者から始まり4月からは65歳以上の高齢者、基礎疾患のある方、高齢者施設従事者、一般市民へと移行します。ワクチン接種は自身の命を守り、そして感染予防することで自身の周りの大切な方々の命を守ることに繋がります。皆さんには、是非積極的な接種をお願いします。基本、身近なかかりつけ医さんで個別接種が安心だと思います。平日が困難な方には集団接種でも可能です。また、医療機関や接種会場に行けない方は訪問接種で対応致しますのでご安心下さい。

*3月の情報です。国からの供給数や時期については交渉が続けられています。松山市広報等で順次情報を更新しています。

*接種に関する一般相談について

コールセンター ☎089-909-3353

2. 速やかな情報発信を求めています。

プライバシー保護や風評被害をおきないよう対応が前提ですが、感染拡大防止のための必要な情報提供がなされなかったり、公表すべき情報が一日遅れても感染拡大は防げません。関係者にはご理解ご協力をお願いします。



3. 医療体制の充実を求めます！！

救急医療ですが、一次救急である休日診療所、急患医療センターはいずれも市民の命を守る大事な砦です。中等から重症患者は、病院群輪番制で支えられています。重症から危篤患者は県病院で受け入れています。県庁所在地である本市は、総合病院や個人病院も多く医療体制は充実していますが、救急医療を支える医療従事者の確保、医師の高齢化や不足している小児科医の確保など多くの課題を抱えています。本市は市立の病院をもっていないことから、医療体制を支えて現場で出務頂いている医師会や医療関係者の声を傾聴し、課題を解決していくことで、命を守る市民サービスを充実していく施策を推進します。

4. 発達障がい児支援のためのワンストップの相談体制が整います！

提案してきました相談しやすい窓口がこの度、令和4年度を目途に設置されることとなりました。今年度は、新たな相談窓口が担うべき業務と設置部署、既存の関係部署との役割分担や、専門的なスキルを有する職員の配置と育成、窓口の運営にかかる財源や人員の確保をすることになりました。

1. ウィズコロナを受け入れ経済を支える。

命が大事、医療の確保を前提として経済を回していかなければなりません。一方、生活を守るために経済を止めることはできません。政策や事象に対し常に反対の視点で報道に感わることなく、事実を見極めて考えなければなりません。残念ながら、コロナが収束すること、今までの感染症と同様に感染者が完全になくなることは無いかも知れません。ウィズコロナを受け入れしっかり経済を回すための方策を求め本市の速やかな施策を実行していきます。

2. コロナ下だからこそ松山をPRできる。

コロナ下で、テレワークが推進されています。また、会議等においてもWEB会議が増える中、大都市の本社機能の中でオフィスの在り方が見直しされ、不動産資産の売却が進んでいます。つまり、本社採用で、通常勤務や住まいは地方という働き方が進んでいきます。本市は、家賃が抑えられる上、空港が近く飛行機便数の多さもあり、誘致において十分に戦えると思います。雇用があり働きやすいこの松山を知って頂き、現役世代の人口を増やしていくことが大事です。



3. 市駅前広場整備事業について！

市駅前広場を改変する構想があり、市駅前に歩行者専用の交流広場を設けると共に、歩行者が広場を中心に路面電車と郊外電車がスムーズに乗り換えでき、点在するバス乗降場を1カ所に集約する再開発構想案で、すべての車両を通行させない計画で進みつつあります。課題としては、周辺道路の円滑な交通処理をはじめ、駐輪対策やタクシー、一般車の乗降スペースの確保のほか、花園町通りや銀天街への人の流れや動線の確保などが挙げられ、十分に調査検証して課題を解決できる根拠を示して事業を進める様に求めています。



4. 市民の生命財産を守る！

想定外ではなくなった浸水想定地区では、常に浸水するという不安、常習化したストレスを抱えています。想定外ではなくなった浸水想定地区の根本的な対策のために雨水管の調査及び改修事業を促進する必要があります。また、各課が連携して新設及び改修工事時に、浸水地区解消のために雨水管の調査や改修工事を実施する考えはないか。そして下水道整備地区外でも頻繁に浸水被害が起こっていることから、さらなる対応を求めています。



政策の柱・その3 教育が変わる！

1. GIGAスクールをはじめます。

GIGAスクール構想がスタートします。すべての小中学校児童生徒に「1人1台端末」での教育が始まりました。これからの時代を生き抜く上で基盤となる言語能力や情報活用能力、AI活用の前提となる数学的思考力をはじめとした資質・能力の育成につながる教育が必要不可欠です。また、義務教育に将来の夢として仕事というキーワードが不可欠ですが、エクセルやワードなどビジネスで活用できる知識をつけることを提言していきたいと思えます。

2. 選ばれる本市の小中学校へ！

本市では、私立学校が多くあり、多くの方が受験しています。授業料が必要なことから、すべての子ども達に機会があるわけではありません。学力差が経済格差であってはならず、選択肢が増える中で、市立小中学校は競争原理の中にあることを直視し、学力向上に力を入れることはもちろん、公立だからこそできる、地域へのつながり、郷土愛、すべての生徒に寄り添うことを充実していくことが大事です。

3. 特別支援教育を充実してほしい！

障がいがある児童と保護者から、近年は、本市小中学校特別支援学級や通級による指導を選択するケースが増えています。個々の個性にあったきめ細やかな現場対応が求められており、教諭の人員確保とスキルアップが急務となっていることから指導教諭のみならず、教員全員を対象にした指導育成が重要になります。特別支援教育の充実を引き続き働きかけしていきます。

5. 水問題の解決は必要水量そして方策を再検討する！

平成6年の大渇水から進展がみられないまま27年、西条黒瀬ダムからの分水を求めてきましたが、令和元年、本市が必要とする水量は、日量最大4万トンと再表明、本市が安全安心な都市を目指す上では、新規水源の開発には多額の費用を要し、水道料金への影響は避けられないことから現時点で優先度は低いと考えています。そもそも日量最大4万トンの再検証も必要です。総務省では広域的な連携強化についても、地域の実情に応じ、経営基盤の強化、経営効率化の推進等を図るための一方策として検討するよう市町村等に対し広域での議論を求めていることから、新規水源の検討と並行して、料金や財政状況、施設整備等の事業者間格差や課題を調査し、県の主導による積極的な検討も必要です。市議会水資源検討特別委員会の委員としてしっかり取り組んでいきます。



政策の柱・その4 遊び場があり仕事があるまちづくり！

ICT普及により、立地のリスクが軽減されつつあります。魅力あるまちに発展していくには、若い人に魅力があることで、それは遊び場があることだと考えます。本市が本来持っている財産を生かし、自らが楽しめる体験型の遊び場があることが大事です。そしてその生活を支える中小企業や個人事業主が、元気で多様な仕事があり雇用があることです。西条市が住みたい田舎ベストランキングで総合・若者・子育て・シニアの4つすべての部門において全国1位で、史上初の4冠を達成しました。魅力あるまちづくりを学んでいきたいですね。



新しく始まる政策・サービス

1. 上下水道のワンストップサービス！

4月から松山市の上下水道料金や給水設備・排水設備、特設排水管の窓口が、市役所第三別館1階に集約されます。

2. 高額医療・高額介護合算医療費等申請

4月から同じ世帯で医療・介護を利用した場合に、年単位で自己負担を軽減する制度です。対象者には3月に送付されています。

3. 市民サービスをキャッシュレスで交付できます。

3月1日より感染予防の観点から、市民課と市民サービスセンターで住民票の写し等の証明書の交付手数料の支払いは、キャッシュレス決済ができるようになりました。

4. 不妊に悩む方々へ特定治療支援事業を拡充します。

婚姻関係のある夫婦に、生涯通算6回から1子ごと6回に。金額も増額されました。詳しくは、健康づくり推進課 ☎089-911-1870

できることから、ひとつずつ

コロナ下だけど、みんなで前を向こう。人も街も元気になる。やっぱりいいよね。まつやま。



原しゅんじ市政報告会

9/20(月・祝) 17:00~
ANAクラウンプラザホテル松山

今後の情勢を考慮して開催を決定します。(原しゅんじ事務所)

開催状況に関するお問い合わせは、
☎089-974-8812